

【30分準耐火構造認定】大臣認定番号:QF030RS-0170
大臣認定番号:QF030RS-0192
大臣認定番号:QF030RS-0172-1
大臣認定番号:QF030RS-0335

施工説明書

防火対応 軒天換気材 壁際タイプ

FV-N1218KF-L27 / FV-N1226KF-L27 / FV-N0818KF-L27 / FV-N0826KF-L27 / FV-N0835KF-L27

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
各大臣認定仕様に基づき施工方法が異なりますので確実に施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 注意



この記号は、禁止の行為を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。



本製品は屋根の妻側及び片流れ屋根の水上側への使用は避けてください。
本製品に塗装しないでください。塗装を施した場合は大臣認定対象外となる可能性があります。
本製品に不必要な打撃を加えないでください。
本製品の分解・改造などは行わないでください。
沿岸地域(塩害の恐れのある地域)および濃霧多発地域、また、その他に錆を誘発する環境下へのご使用は避けてください。
本製品を軒天以外の場所へ使用しないでください。
本製品を野縁受けなどの下地材として使用しないでください。

保管についてのお願い

本製品の保管は、雨雪などのかからない屋内で平積みにて行ってください。
本製品は立て置きでの保管をしないでください。小口を傷めたり、ソリや変形の原因になる恐れがあります。
本製品を梱包ケースの小口から引き抜かないでください。製品に傷が付く場合があります。

施工についてのお願い

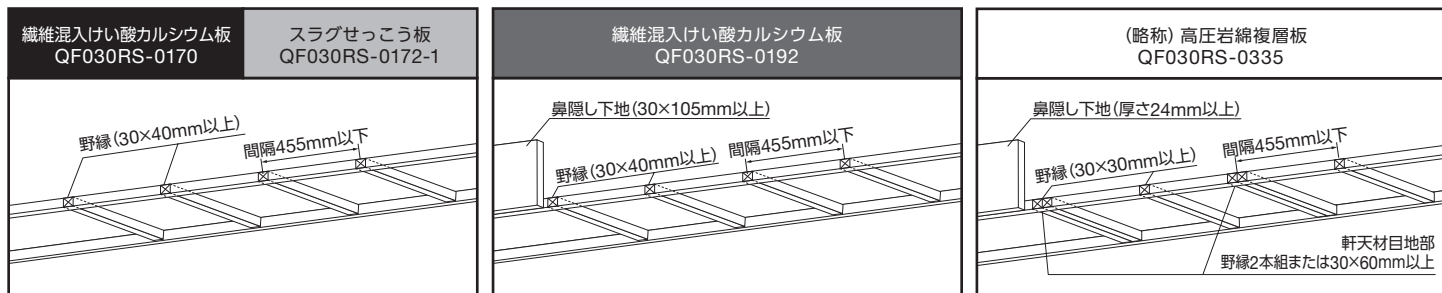


建築基準法並びに関係規則規定等に適合しているかご確認の上、ご使用ください。
大臣認定番号を使用する場合は、認定書の別添に従った材料の選定と施工をしてください。
防水紙を桁の上端まで確実に施工するなど、躯体側やその他水掛かりに注意が必要な部材には防水措置を確実に行ってください。
銅・鉛など異種金属との接触・接合は、電食が起こる場合がありますのでご注意ください。
また、銅・鉛などを含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材など)との接触も同様にご注意ください。
鉄粉・モルタルなどの異物接触により、表面に変色や錆が生じる場合がありますので注意してください。
給湯器等の燃焼ガスの接触により塗膜剥離が起こる恐れがありますのでご注意ください。
本製品は金属製のため、手などを切る恐れがありますので十分注意してご使用ください。
塗装面と比較して錆びやすい小口部分は、必要に応じて専用補修塗料(スプレータイプ)を塗るなどの処理をおすすめします。
野縁や鼻隠し下地などで軒天換気材の通気穴を塞がないようご注意ください。
本製品を切断した場合、切断小口を整えてください。
本製品のジョイント部には、必ず野縁または下地を入れてください。
勾配軒天(寄棟)および切妻屋根での連続使用は、直線単位の納まりになります。別売のエンドキャップを端部に差し込んで、取り付けてください。
専用補修塗料(スプレータイプ)を準備しております。ご用命の際は最寄りの営業所へご連絡ください。

1 下地の確認

下地を確認し、指定軒天材ごとの認定内容に従って施工してください。

	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0170	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0192	スラグせっこう板 QF030RS-0172-1	(略称) 高圧岩綿複層板 QF030RS-0335
野縁間隔	455mm以下	455mm以下	455mm以下	455mm以下
野縁 木材寸法と配置	30×40mm以上の1本組	30×40mm以上の1本組	30×40mm以上の1本組	30×30mm以上の1本組 目地部は2本組または30×60mm以上の木材
野縁取付材料 (現場調達)	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ3.8×50mm以上の いずれか	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ3.0×50mm以上の いずれか	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ3.0×40mm以上の いずれか	釘またはねじ φ2.75×50mm以上
吊木木材 (軒の出500mmを超える場合は) 500mm以下の間隔で設置	25×30mm以上	25×30mm以上	25×30mm以上	30×30mm以上
吊木間隔	軒の幅方向に 910mm以下の間隔で取付け	軒の幅方向に 455mm以下の間隔で取付け	軒の幅方向に 910mm以下の間隔で取付け	軒の出方向に500mm以下 軒の幅方向に1,000mm以下で取付 (勾配軒で野縁を垂木に直接取り付ける場合は省略可能)
吊木留付材料 (現場調達)	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ2.0×40mm以上の いずれか	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ3.0×40mm以上の いずれか	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ2.0×40mm以上の いずれか	釘またはねじ φ2.75×50mm以上
鼻隠し下地	—	30×105mm以上	—	厚さ24mm以上
鼻隠し下地留付材料 (現場調達)	—	丸くぎN50以上 釘φ2.75×50mm以上 ビスφ3.0×40mm以上の いずれか	—	釘またはねじ φ2.75×50mm以上
各木材の確認	野縁・吊木は日本農林規格 (JAS) に適合する針葉樹の下地用製材または下地用集成材を使用してください。		野縁、吊木は、日本農林規格 (JAS) に適合する針葉樹の下地用製材または下地用集成材、単板積層材、平成12年建設省告示第1452号の第五号に規定する無等級材または第六号に規定する木材を使用してください。	野縁・鼻隠し下地・吊木は日本農林規格 (JAS) に適合する製材、集成材、平成12年建設省告示第1452号の第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材を使用してください。
	野縁 (下地) は材が割れていないか、十分に乾燥しているか、しっかりと固定されているかをご確認ください。			



2 軒天換気材の取り付け

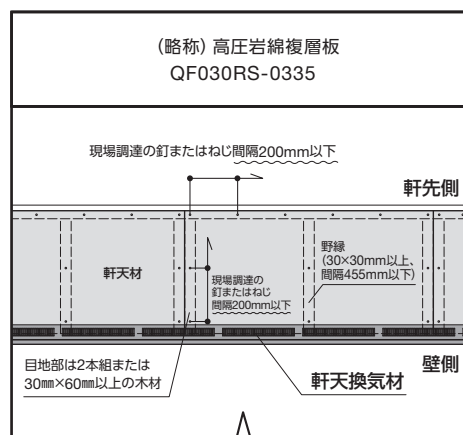
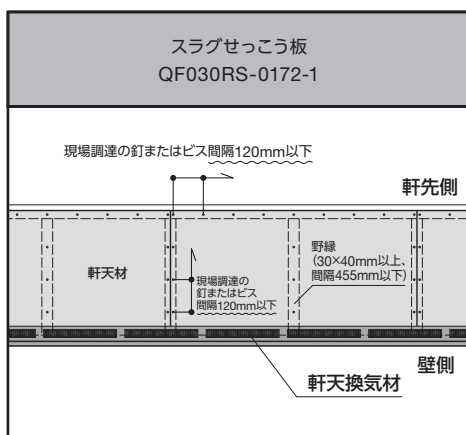
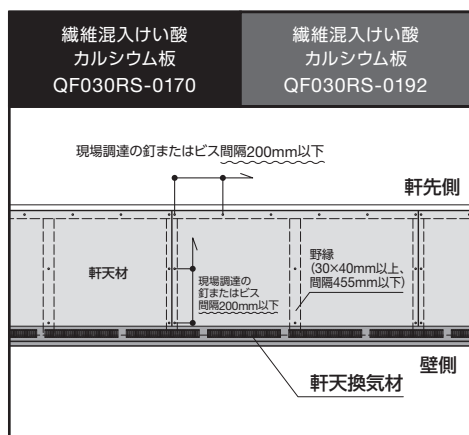
下地の次に、軒天換気材を取り付けます。指定軒天材ごとの認定内容に従って施工してください。

	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0170	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0192	スラグせつこう板 QF030RS-0172-1	(略称) 高圧岩綿複層板 QF030RS-0335	
軒天換気材 留付材料 (現場調達)	丸くぎN32以上 釘φ1.9×32mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	丸くぎN32以上 釘φ1.9×32mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	丸くぎN32以上 釘φ1.9×32mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	釘またはねじ φ1.9×32mm以上	
軒天換気材 留付間隔	455mm以下	455mm以下	455mm以下	455mm以下	
水返し板 留付材料 (現場調達)	丸くぎN32以上 釘φ1.9×32mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	丸くぎN32以上 釘φ2.1×38mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	丸くぎN32以上 釘φ2.1×38mm以上 ビスφ2.0×25mm以上 のいずれか	釘またはねじ φ1.9×32mm以上	
水返し板 留付位置	軒天換気材端部	軒天換気材端部	軒天換気材端部	軒天換気材端部	

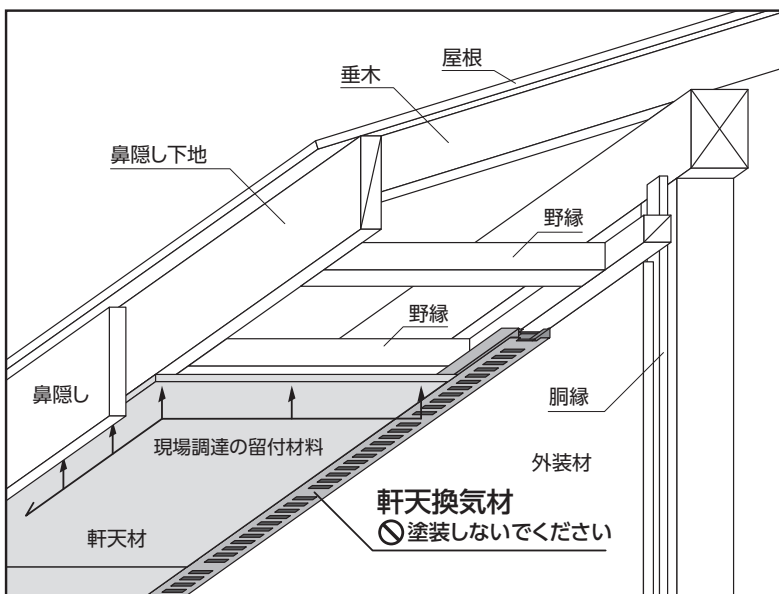
3 軒天材の取り付け

軒天換気材の取り付け後、軒天材を取り付けます。軒天材を軒天換気材の見切り部に差し込み、認定に対応する現場調達の釘またはビスを用い、指定された間隔で野縁へ留め付けます。指定軒天材ごとの認定内容に従って施工してください。

	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0170	繊維混入けい酸カルシウム板 QF030RS-0192	スラグせっこう板 QF030RS-0172-1	(略称) 高圧岩綿複層板 QF030RS-0335
軒天材留付間隔	200mm以下	200mm以下	120mm以下	200mm以下
軒天材留付材料 (現場調達)	丸くぎN38以上 釘φ2.2×38mm以上 ビスφ2.0×25mm以上の いずれか	丸くぎN38以上 釘φ2.2×38mm以上 ビスφ2.2×25mm以上の いずれか	丸くぎN38以上 釘φ2.2×38mm以上 ビスφ2.0×25mm以上の いずれか	リング釘φ2.15×38mm以上 ねじφ3.5×38mm以上の いずれか



軒天材目地部に金属製のT型ジョイナーを使用すると大臣認定QF030RS-0335の対象外となります。



大臣認定番号	指定軒天材	適応軒天厚さ	適応軒の出	吊木施工について
QF030RS-0170	繊維混入けい酸カルシウム板	12mm	100mm～ 1,000mm以下	軒の出が500mmを超える場合は、500mm以下の間隔で吊木の施工が必要。
QF030RS-0192	繊維混入けい酸カルシウム板	10mm・12mm	100mm～ 1,000mm以下	軒の出が500mmを超える場合は、500mm以下の間隔で吊木の施工が必要。
QF030RS-0172-1	スラグせっこう板	8mm・11mm 12mm	100mm～ 2,000mm以下	軒の出が500mmを超える場合は、500mm以下の間隔で吊木の施工が必要。
QF030RS-0335	高圧岩綿複層板 (略称)	12mm	100mm～ 2,000mm以下	軒の出が500mmを超える場合は、500mm以下の間隔で吊木の施工が必要。 ただし軒の形状が勾配タイプで野縁を垂木に取付ける場合は不要。



軒の出 (被覆材長さ) が、各認定の適応範囲外の場合は、30分準耐火構造の認定構造として扱われませんのでご注意ください。

4

役物の取り付け【全認定共通】

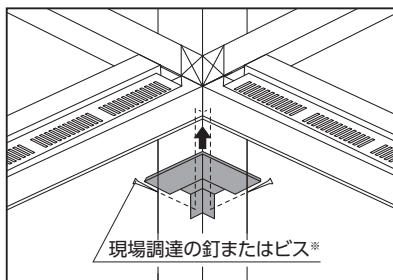
●役物は本体の軒天換気材差し込み部（見切部）のツバに引っ掛けてから取り付け、本体へつづいて挟み込んでください。

※繊維混入けい酸カルシウム板の場合：丸くぎN32以上、または釘 ϕ 1.9×32mm以上、またはビス ϕ 2.0×25mm以上を使用してください。

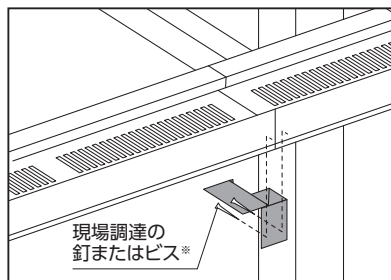
スラグせこう板の場合：丸くぎN32以上、または釘 ϕ 2.1×38mm以上、またはビス ϕ 2.0×25mm以上を使用してください。

高圧岩綿複層板（略称）の場合：釘またはねじ ϕ 1.9×32mm以上を使用してください。

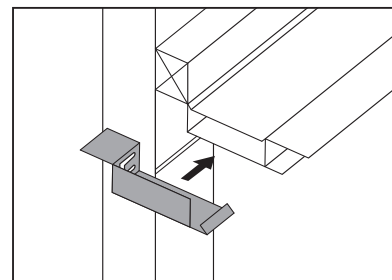
■出隅（入隅）の取り付け



■ジョイントカバーの取り付け

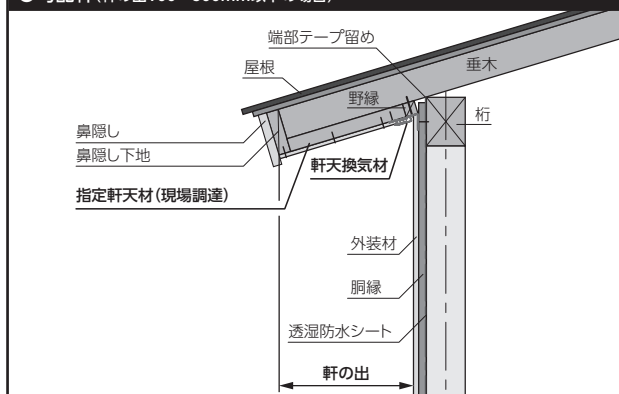


■エンドキャップの取り付け

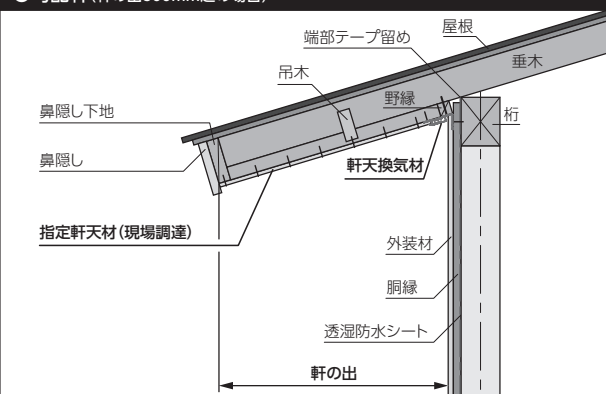


■納まり図

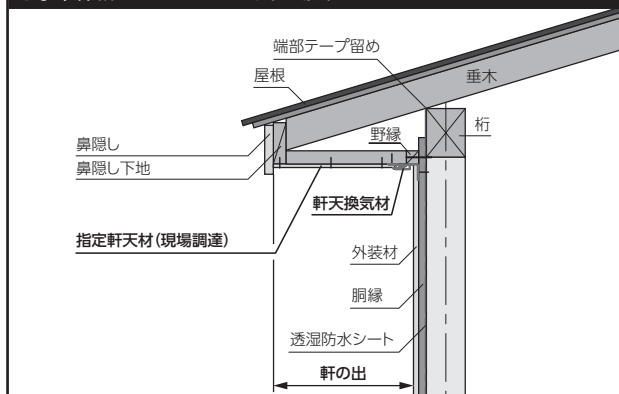
●勾配軒（軒の出100～500mm以下の場合）



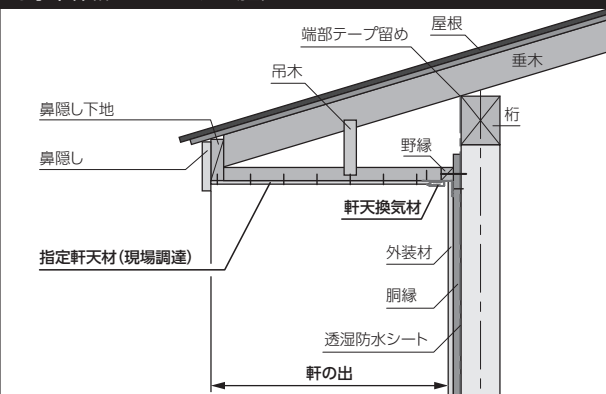
●勾配軒（軒の出500mm超の場合）



●水平軒（軒の出100～500mm以下の場合）



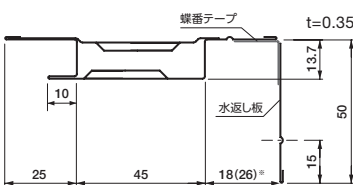
●水平軒（軒の出500mm超の場合）



※大臣認定番号に適應する納まりにするため、施工説明や納まり図を参考に、大臣認定書の内容に従って施工してください。

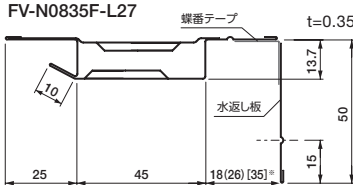
■製品寸法図

【軒天材 厚さ10、11、12mm用】
FV-N1218KF-L27
FV-N1226KF-L27



※（ ）内はFV-N1226KF-L27の寸法です。

【軒天材 厚さ8mm用】
FV-N0818F-L27
FV-N0826F-L27
FV-N0835F-L27



※（ ）内はFV-N0826KF-L27、〔 〕内はFV-N0835KF-L27の寸法です。

■製品仕様

品 名	防火対応 軒天換気材 壁際タイプ
品 番	FV-N0818KF-L27 FV-N0826KF-L27 FV-N0835KF-L27
長 さ	2,730mm
材 質	カラーGL鋼板* (高耐食仕様、厚さ:0.35mm)
梱 包	6本/ケース
有効換気面積	150.5cm ² /m

*JIS G3322

城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは

ダイヤル【J】0120-106011

受付時間（土・日・祝を除く）9:00～12:00/13:00～16:00

城東テクノホームページ

Joto
<https://www.joto.com>



Information

※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。

※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。